

物質科学分析体制のあり方～世界屈指の火山物質科学分析の中核拠点を目指して～（案） 資料 計3－（3）

- はじめに**
- 火山灰、噴石、火山ガス等の**火山噴出物の特徴を捉えることは、噴火の様式・規模の把握やその推移の予測に決定的に重要**
 - 火山本部の総合基本施策中間取りまとめ(R7.3.28本部決定)において、**物質科学分析体制の中核拠点を整備・運用することを位置付け**

中核拠点が果たすべき役割

物質科学分析の一元的な体制の欠如で、統一的な科学的見解の表明と、火山活動評価までは至らず

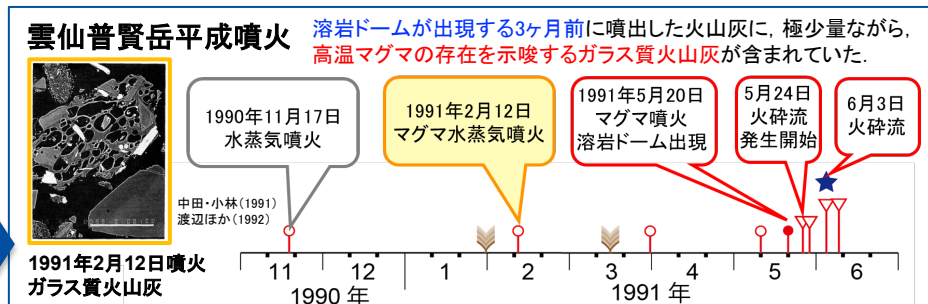
- 平時** ○**火山噴出物データベース整備と予測手法の確立**：噴出物の特徴や、実験結果に基づき、**火山噴出物データベース**を作成するとともに、全国の火山の活動推移を分析し、**火山活動推移予測手法を確立・標準化**
- 緊急時** ○**準リアルタイム火山活動推移把握・予測**：進行中の噴火の噴出物を**迅速に分析**する標準化スキームを確立したうえで、新しいマグマ物質の有無などを基に**火山活動推移を把握・予測**

役割を果たすために必要な基盤

- 分析機器及びその周辺機器**：**火山本部との連携**- 火山活動の推移把握、噴火の様式や規模の予測のための調査観測研究を実施
- 分析を確実に実施するための研究施設**：**堅牢な建屋**- 精密かつ安全な分析には、振動に強いこと、清浄であること、適切な排気・排水が必須
- 人材**：**火山調査研究を強力かつ持続的に推進**- 調査すべき項目の種類と数に基づいた、十分な数の研究者と専門技術職員

中核拠点のあるべき姿 (国研)防災科学技術研究所に**火山噴出物分析センター（仮称）**を設置することが望ましい

- 法令や政府の各種計画等に基づき、**適切かつ確実な調査観測研究を最優先に実施**し、持続的・安定的な組織運営が可能
 - 既存の火山研究組織を有し、**機動的な調査観測・解析グループと密接な連携**
 - 地球物理観測データを集約し、**物質科学と地球物理学の両輪**で火山調査観測を推進
- 防災科研は全てを満たす



火山活動推移予測の将来像

